

【研究概要】

継続的に薬物療法が行われている統合失調症患者を対象として、ブレクスピプラゾールへの切り替えを行い、切り替え前における入院と切り替え後1年間の入院回数を比較する。主要評価項目は切り替え前と切り替え後1年間におけるの入院回数とし、副次評価項目は前後期間における1年間の入院日数、ブレクスピプラゾール開始前と開始後6カ月における有効性(PANSS)、安全性、認知機能(BACS-J)、社会機能(SLOF)、QOL(SEIQoL-DW)、眠気(エプワース眠気尺度表)、身体状況の変化とする。